



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 黒田精工株式会社
 代表者名 取締役社長 黒田 浩史
 (コード番号 7726 東証 第 2 部)
 問合せ先 経理部長 荻窪 康裕
 (TEL 044-555-3800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 8 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

- (1) 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期（累計） 連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株式に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,300	175	160	100	17 円 79 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	7,777	230	260	134	23 円 84 銭
増 減 額 (B-A)	477	55	100	34	
増 減 率 (%)	6.5	31.4	62.5	34.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期)	6,569	54	6	△10	△1 円 82 銭

- (2) 平成 30 年 3 月期 通期 連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	14,600	350	320	200	35 円 58 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	15,900	410	410	240	42 円 70 銭
増 減 額 (B-A)	1,300	60	90	40	
増 減 率 (%)	8.9	17.1	28.1	20.0	
(ご参考) 前期通期実績 (平成 29 年 3 月期)	13,260	113	169	99	17 円 65 銭

- (3) 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期（累計） 個別業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,300	165	150	100	17 円 79 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	6,672	254	270	169	30 円 07 銭
増 減 額 (B-A)	372	89	120	69	
増 減 率 (%)	5.9	53.9	80.0	69.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期)	5,569	77	72	57	10 円 21 銭

- (4) 平成 30 年 3 月期 通期 個別業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	12,600	330	300	200	35 円 58 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	13,600	460	490	340	60 円 49 銭
増 減 額 (B-A)	1,000	130	190	140	
増 減 率 (%)	7.9	39.4	63.3	70.0	
(ご参考) 前期通期実績 (平成 29 年 3 月期)	11,216	188	254	195	34 円 91 銭

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計度及び前事業年度期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1 株当たり四半期純利益」「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正理由

当事業に関する需要動向は、半導体、液晶、ロボット、自動車、家電、工作機械等幅広い分野で高水準の状況が続いており、個別業績に関して大幅な増収が見込まれます。下期には試験研究費や人件費等の諸経費の増加を予定しておりますが、それらを勘案しても通期個別業績が当初予想に比較して大きく増益となることを見込まれます。

また、10月26日に開示した投資先企業に関する有価証券売却益（152百万円）を特別利益として見込む一方、下期に実行を予定している生産ライン再編成に関する移転費用や建物整備費用等を特別損失として織り込みました。

連結業績に関しては、新規大口商談を受注したことに伴い現在マレーシア子会社においてレーザーFASTEC®のモーターコア量産ラインを立ち上げており、その関連先行費用を下期に見込むとともに、欧州子会社の業績が低迷していることを加味し、業績見込みを算定いたしました。

以上の諸要素を総合し、今回の業績予想の修正を行うものです。

※上記の予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上